

足利歩き愛ですの開催地域の選定

地域名 足利市

7班 コミュニティデザイン学科 為我井樹里 木津英美里

建築都市デザイン学科 小林岳 佐藤杏菜

パートナー名 足利市役所健康増進課

社会基盤デザイン学科 坂部大成

Background

歩き愛ですとは、GS 世代研究会が主催のウォーキングイベントで、1000 円で専用の歩数計を買っていただき、それを参加費として 10000 歩以上のコースを歩き、健康増進を促すイベントである。これは、西日本中心に各地で開催されており、10000 歩達成すると景品がもらえるほか、様々なお店で優待サービスが受けられる。

足利市では一昨年、昨年、今年と 3 年連続で開催しており、規模は歩き愛ですのイベントの中でも最大となっている。足利歩き愛ですは足利の寺社を巡るコースで、参加者の約 8 割が 50~70 代である。チェックポイントでクイズに答えるとボーナス歩数が獲得でき、実際の歩数と合計して 20000 歩を超えると抽選くじに参加できる。また、徒歩コースは新日本歩く紀行 100 選シリーズの文化の道 100 選に認定されている。しかし、一昨年から今年の開催まで同じコースを歩いているので、話題性に乏しい、リピーターの減少、といった問題が挙げられた。そこで今回、7 班では新しい足利歩き愛ですのルート案を考案することになった。

Purpose

足利歩き愛です開催によって住民の健康推進による医療費抑制や地域住民の地元を愛でる意識の醸成を行うことが出来る。これらの観点から、足利市では、身体のみならず生きがいを持って生活出来る状態を「健幸」と定義し、歩くことを基本としたまちづくり活動を指す「スマートウェルネスシティ」を目指している。新ルートの設定により、足利歩き愛ですを魅力あるイベントにして、多くの住民に参加してもらい、スマートウェルネスシティの実現に近づけることが目的である。

Method

主に JR 足利駅周辺地域の現地調査を行った。以降時系列順にまとめる。

2018/05/19(土) 第 1 回現地調査

第 1 回、第 2 回足利歩き愛ですで使用したコース（鑿阿寺～心通院～本城殿島神社～長林寺～西宮神社～常念寺～福蔵寺～友愛会館～まちなか遊学館～太平記館～鑿阿寺）をパートナーと実際に歩いた。

2018/10/09(火) 第 2 回現地調査

第 1 回現地調査で出た改善点をまとめ、自分たちで作成したルートを実際に歩いた。

- ・1 案 中橋緑地～渡良瀬橋～八雲神社～森高千里の公衆電話～中橋緑地
- ・2 案 JR 足利駅～鑿阿寺～心通院～本城殿島神社～織姫神社～JR 足利駅

2018/10/23(火) 第 3 回現地調査

足利市の地域資源の発掘をするためにパートナーの紹介のもと JR 足利駅以北～ココファームワイナリーを中心に調査を行った。

2018/12/19(水) 実行委員会への参加

第 2 回足利歩き愛です実行委員会に参加。ルートの最終案を発表し、評価を頂いた。

2019/01/20(日) 第 4 回現地調査

第 3 回足利歩き愛です開催日。一般客として参加しコースを歩く。



Result of analysis

2018/5/19(土)の第 1 回現地調査より今までのルートの良い点や解決すべき点についてそれぞれ意見を出した。チェックポイント間が長く飽きてしまう、このコースでは高齢者が来てくれないのではないか、道やチェックポイントがわかりづらいなどという意見が出た。これを元に 7 班では若者が来たいと思えるコース、子供向けのコースなど 8 コース考えた。しかし「歩き愛です」全体について調べたり、パートナーさんたちと話していく中で足利歩き愛ですは他の開催地に比べアクティブシニア世代のリピーターが多いことやロゲイニングと言う若い世代向けのイベントが他にあることから、3rd cycle では高齢者に向けた提案の作成を行った。最終的には誰でも楽しめ、市内の人からも親しまれている森高千里さんの歌になぞらえたコースと、私たちが今まで考えてきた若者に来てもらえるコースとして健康の先に美しさがあるというコンセプトの足利美人コースの 2 つを提案する。

Proposal

・森高千里コース

足利市の観光大使を務める歌手の森高千里さんの名曲「渡良瀬橋」のゆかりの地を中心に散策するコースになっている。足利市民にも親しまれているため、コースとして取り入れたいという意見から発案された。JR 足利駅からも徒歩で行くことが出来る中橋緑地をスタート/ゴールに設定し、東武足利駅方面に向かって歩いて行く。途中、新生児の無病息災を願うペタンコ祭りの会場となった浅間神社から足利の眺めを一望出来る。そして、歌のタイトルにもなった渡良瀬橋を歩いて行く。その後、八雲神社に向かって歩いて行く。ここは渡良瀬橋の歌詞の中で「今でも八雲神社へお参りするとあなたのこと祈るわ」と描写されている。また、進んで行くと、「床屋の角にポツンとある公衆電話覚えてますか」の歌詞にある公衆電話を見て中橋緑地へと戻って行く。

・足利美人コース

「健康増進の延長に綺麗になる」というコンセプトのもと、足利市内を中心に散策するコースとなっている。本来の目的である健康増進をテーマにしつつ若者も参加したいと思わせるようなコースを作りたい、という思いから発案した。敷地が広く人が集まりやすい足利市陸上競技場をスタート/ゴールに設定、鑿阿寺、足利学校に向かって進んで行く。このコースはただ歩くだけではなく、足利大通り沿いのお店の散策や屋台等で健康を意識した軽食の販売を行って、人々に健康増進をより身近に感じてもらうことも視野に入れている。その後、縁結びの神がいる織姫神社から足利の景色を一望する。最後に美人証明を発行している本城殿島神社を巡り、足利市陸上競技場に戻る。



JR 足利駅の北側を歩くコース(森高千里コース)、南側を歩くコース(足利美人コース)に分かれているため、足利の魅力をも十分に盛り込んだ案になっている。